**第５回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会記録《要旨》**

○日時　　平成２７年１月２２日（木）　１０：００～１１：３０

○場所　　メルパルク大阪　４階　ソレイユ

（大阪市淀川区宮原４－２－１）

○議題　　将来ビジョン答申案について

○出席委員等　　更家会長、石川委員、中谷委員、生井委員、平田委員、小泉専門委員

○事務局　　府民文化部理事　ほか

＜事務局より「資料２」の記載内容説明＞

**更家会長**

概要版には「公園運営」の部分に「持続可能な運営体制の構築」と記載されている。　　　これを目標として掲げることはできないか。

例えば、目標像の４つ目の「持続的な魅力の創出」を「持続可能な魅力の創出とそれを支える運営財務体制の構築」とすることはできないか。

**事務局**

運営体制について、大きな目標という意味合いで掲げるということであるが、他の　　目標像は「人と自然の調和」「世界への文化と美の発信」「人々の交流と創造」となって　　いる。横並びで見た時に少し違和感があるように思える。

**更家会長**

それでは「７つの基本方針」の中に「持続可能な運営・財務体制の構築」という項目を追加することはできないか。

答申本文にも記載されている内容であるし、ボランティアを活用した運営体制の構築や財務体制の改善など、はっきり記載した方がわかりやすい。

広報についても、答申本文には、ＩＣＴの活用や国際的な魅力を高めるためのイベントの開催などが記載されているので、入れておく方がよい。

**事務局**

概要版をご覧いただくと、「広報」「事業者誘致」「公園運営」は、横断的な要素となるので、大きな項目という取り扱いをさせていただいた。

**更家会長**

それでは「公園運営」のところを「持続可能な運営・財務体制の構築」とすれば如何か。

**事務局**

修正させていただきます。

**更家会長**

「取り組み内容」について、「園内を芸術文化創作の場とし、若手芸術家を発掘」と　　　いう表現は具体的すぎる。若手に偏るとよくないのではないか。

**小泉専門委員**

答申本文３３ページに記載されている旧国際児童文学館について、アートやデザイン　などの創作を行う創造発信の拠点として活用するという記載がある。こうしたものを含むような形にすればどうか。若手芸術家だけではなく、もう少し対象を広げた方がよい　　のではないか。

**更家会長**

若手の育成は重要。しかし、そればかりになってしまうと、魅力という観点では　　　　下がったものになる。以前、堺屋先生からいただいたご意見は、若手であれ高齢者であれ、一流のものを万博公園から発信し、オンリーワン、ナンバーワンのものを体験できる　　ようにすべきという内容だった。表現はお任せするので、検討いただきたい。

**事務局**

若手にとらわれずということですね。承知しました。

**更家会長**

「取り組み内容」３つ目の「森づくりのプロ」と記載されている部分の横に、日本庭園八景の記載がある。

いきなり八景に触れるのではなく、前段に日本庭園の整備の方向性があった方がよい　のではないか。

**事務局**

質の高い日本庭園の整備が一番大きな目的。それに触れた上で、八景を設定するという構成にさせていただきたい。

**小泉専門委員**

「高い目線で」「広い視点から」が重要。そして、後々の取組みに支障をきたさない　　　よう、また、限定的にならないようにしておいた方がよい。今後とも柔軟に新しいものを取り入れる余地を残し、可能性を閉じないようにすることが大切。

大阪大学との連携については、今後調整が必要な部分もあり具体的な記載は難しいと　思う。しかし、万博公園にとって大阪大学は重要なリソース。連携することにより　　　　いろいろな可能性が開けてくると思うので、そうした可能性が閉じられないようにして　いただきたい。

両者が行き来できる公園北側のゲート設置について、現実的にはいろいろ問題はある　かと思うが、実現できるような表現にしておいていただきたい。

**平田委員**

万博公園では、ガンバ大阪というプロサッカーチームが活動されている。あのような　素晴らしいチームを一から誘致するとなると、大変なエネルギーが必要。ガンバ大阪は、万博公園のレガシーにふさわしいチーム。たくさんあるスポーツの中のサッカーではなく、ガンバ大阪というプロサッカーチームを万博公園に位置づけることが重要。

この審議会では、公園の運営方法について新たな運営体制においても斬新なものを、ということを議論した。それが、「７つの基本方針」になくて、その下の「公園運営」の　　　　項目に記載されている。この関係がわからない。

また、運営体制の機能不全が日本の公共施設における歴史であり、それを打破しよう　ではないか、ということも議論してきた。

運営方法については、目標像や基本方針で記載されるべき大きなテーマではないか。

**事務局**

基本方針に位置づけ、８つ目の基本方針という形で、記載させていただきたい。

**石川委員**

答申本文５２ページには、基本方針７として「全ての人にとって利便性の高い公園の　整備・運営を目指す」と記載されている。私は、「運営」は基本方針の中に含まれているものと認識。表現を工夫して基本方針の数を増やさないようにすべき。

**更家会長**

基本方針５「健康づくりを支援する公園」、基本方針６「多様なライフスタイルを実践できる公園」、基本方針７「全ての人が安心して快適に利用できる公園」は、来園者に　　　快適に過ごしていただくという意味では共通。私が申し上げたいのは、それを支える財務や経営基盤について、新しい形のものを導入しようということ。

石川委員が仰る７つが適正な数とすれば、基本方針の６と７を統合して「多様なライフスタイルを実践でき、人々が安心して快適に利用できる公園」とし、新たな基本方針７　　として、そのための「持続可能な運営・財務体制の構築」とすればどうか。

**小泉専門委員**

会長のご意見には賛成。本審議会で議論してきた中心的な事項。４つ目の目標像を　　「魅力を持続する仕組みの創出」などとすれば如何か。仕組み自体が非常に重要。

**更家会長**

議論の内容を方向感が表現されやすいように修正していただくと分かりやすくなる。

**事務局**

基本方針については７つ。項目として細分化されている部分は統合し、運営体制に　　ついては、基本方針の中に明記させていただきたい。整理にあたっては、会長と相談　　　させていただきたい。

**生井委員**

外国人観光客の観光に要する時間は短縮傾向にある。その中で、外国人観光客に万博　公園に来ていただくのは、非常に厳しい状況。もう少し時間をかけて、議論を深めることが必要。

外国人観光客数について、平成３２年度の目標１０万人は少ない。ものすごい数の方が海外から来られている。アクションを起こせば、１０万人は早期に達成できる。もっと　　高い目標を設定すべき。

**事務局**

１０万人という目標について、３００万人の来園者の３％としている。他のエンター　テインメント施設来場者に占める外国人の割合が４％前後とされているので、これを参考としたもの。本府において将来ビジョンを取りまとめる際には、委員のご指摘を参考に　させていただきたい。

**更家会長**

「広報」の部分に、国際的なスポーツイベント等との連携や、国際大会を誘致して公園と連携するという旨を記載すれば如何か。

**平田委員**

基本方針５の取り組み内容の中に、ガンバ大阪との連携という内容を明記すればどうか。

**事務局**

ガンバ大阪さんが、万博公園でプレーしていただいていることは、大きな財産。ガンバ大阪というサッカーチームとの連携に関する表現を明記したい。

**更家会長**

「広報」の部分で記載されているのは、Wi-Fi環境の整備やデザインの統一など、内輪のことが多いような気がする。国際的イベントの活用による広報の強化などがあればよい。

広報の強化は、国際的イベントの開催と連携するもの。国際的イベントがスポーツの　場合もある。

また、スケールがあるイベントを開催し、人を呼び込むということを入れていただき　たい。

**平田委員**

賛成。ロンドンにはクリスタル・パレスというサッカーチームがある。ロンドン万博の会場となった建物は、クリスタル・パレスといった。その名が残っている。大阪万博跡地に日本を代表するサッカーチームがあるというのは、ロンドンと同じだと感じた。

**中谷委員**

答申の方向性としては、私は、これでよいと思う。しかし、今後、将来ビジョンを　　　　具体化していく手法としては、大阪らしさ、インパクトが必要。インパクトを重要視していただきたい。

**小泉専門委員**

これからも継続して検討していくという仕組みを考えることが重要。これを将来　　　ビジョンに組み込むと、持続性の観点からもよいのではないか。４つ目の目標像として　その旨掲げるべき。

**事務局**

運営の中でＰＤＣＡを加えて、どんどん魅力のあるものにアップしていくことは必要であると考える。

**平田委員**

「魅力を持続する仕組みの創出」では、如何か。

**石川委員**

万博公園の森は、大阪万博跡地を造成して開設されたが、当時は高度経済成長期で、　　環境に対する意識も希薄であった。また、土壌の状態は非常に劣悪であったと聞いている。それが、５０年近く経って立派な森になった。これは素晴らしいこと。世界に誇る実験の森だ。都市における森を造るフロントランナー。誇りを持って継承していただきたい。

緑整備部会ではいろいろ議論をした。答申案には、万博公園の森について丁寧に記載　されており、事務局に感謝を申し上げたい。

万博公園には、いろいろな人々が関与している。将来ビジョンが取りまとめられた後、関係者が一堂に会して持続可能な運営の仕組みを構築していただきたい。単に土地を　　貸し付けてお金をもらうということだけではない。人的な財産を、公園の魅力創出、　　　運営の仕組みづくりにどのように活かすのかが重要。本審議会ではその議論が薄かった。

しかし、万博公園には人的財産がある。環境教育など世界最高のプログラムもある。　　ぜひ誇りを持っていただいていただきたい。魅力を持続する運営について、公園に関係　する方々という財産を活用して構築していただきたい。府が策定するビジョンには具体的にどうするのか明記していただきたい。

本日持参した模型は、シンボルゾーンの部分のみであるが、ぜひ公園全体のものを　　作っていただきたい。模型で全体像を見ることは夢を育むことにもなる。小学生などに　見てもらって「なるほど」と思ってもらえる場を設けていただきたい。魅力を持続する　　運営づくりにも繋がると思う。人を育てる仕掛けをつくってほしい。

万博公園は、自然文化園や日本庭園がある区域、敷地の半分しか都市計画決定されて　いない。公園全域は、条例公園として将来にわたり持続可能な状態で運営していくことが担保されていることと思うが、答申本文５ページの余白部分に、現状（図面等）を付記　　していただきたい。

なぜ、敷地の半分しか都市計画決定されていないのか、不思議。

**更家会長**

府としては、当面、万博機構における形態を当てはめて条例を策定したとお聞きして　いる。

**事務局**

府としては、万博公園全体を、緑に包まれた文化公園という理念のもとで運営する旨　条例で明記しているので、この理念は継承してまいる。

**石川委員**

将来的には、胸を張って全体が（都市計画決定された）公園としていただくことを希望する。

**小泉専門委員**

将来的にも一体管理するという項目をどこかに入れられないか。

**石川委員**

４つめの目標像に入れるべきではないか。

**更家会長**

答申本文５９ページ６０ページあたりに、公園の一体的運用を目指すなど、項目を　　作っていただいて明記願いたい。

**更家会長**

堺屋先生からメッセージをいただいている。この場で私のコメントと合わせてご紹介　させていただく。

まず、「答申案について土地の破壊的な切り売り案になっていることに若干失望感が　ある」とのご意見。破壊的といっても、すでに南側ゾーン活性化事業やスタジアムの建設などが決まっている中での議論なので、審議会として破壊的な切り売りは推奨していないということをご説明申し上げたい。

次に、「年に何回か統一行事にされればいかがか」とのご意見。これは、審議会としてガンバ大阪との連携や国際的なイベントを開催し、国際的に宣伝を行って行くよう提言　するとお答えしたい。

次に、「２０２５年の万国博覧会への立候補」。これは大阪府において検討中であり、　　審議会としてこれを将来ビジョンに盛り込むことは時期尚早とお答えしたい。

ご意見をもう一度申し上げると、「民間の商業施設や遊び場に分割するのはもったい　ない」「世界的な目線で大阪に残された巨大資産を総合的に活用すべし」「大型行事を年に何回か開催されて『太陽の塔』を中心とする芸術文化的ゾーンで計画的に目標を立てて　長期的に実現していく」「『太陽の塔』は２０２０年以降に世界遺産登録を目指す」「万博　　公園の全国的国際的広報を行なうこと」

最後に、審議会答申案を土台として、次の体制で立派な公園にしていただくことを期待する。

 　本日も委員の皆さまからたくさんのご意見を頂戴した。これらの対応については、会長である私にご一任いただき、事務局と調整させていただきたい。私の方で事務局と調整　した上で答申として取りまとめ、後日、正式に答申をさせていただく。

　　それでは、事務局にマイクを戻します。

**事務局**

事務局としては、本日の審議会終了後、答申の記載内容について、委員の皆さまから　　いただいたご意見を踏まえ、更家会長の下、調整や修正を施した上で取りまとめ、後日、正式に答申としてお受けいたしたいと考える。

答申は２月から始まる府議会に報告する。その後、府としてビジョン（案）を作成し、パブリックコメントを経て、最終的に府としての将来ビジョンを策定してまいりたい。

　　以上で本日の審議会を終了いたします。委員の皆さま、ありがとうございました。

以　　上